

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
卒業研究	PSP45-001	選択	4	4	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
坂本 祐太 他	D310	y.sakamoto	火曜 13:00~14:40		

授業の目的・概要	本科目では、課題に対して問題を発見し解決する能力や、専門知識と実験技術を問題解決に利用できる能力の向上、経験した内容を客観的に説明する能力の向上を目的とする。担当教員の指導のもと個別の研究テーマあるいは課外活動を設定する。研究および調査では研究計画の立案、データの取得、分析・解析方法、議論の進め方などを体験する。課外活動では得た情報のまとめ方を学び、卒業論文を作成する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	卒業論文に関する研究は年間を通じて担当教員との対話、指導を可能とする。本科目の履修を希望する者は必ず2、3年のうちに希望分野の教員に相談すること。研究、調査、活動等の計画は研究指導教員と十分打ち合わせをして進めること。				
教科書	各研究指導教員の指示に従うこと。				
参考書	各研究指導教員の指示に従うこと。				
外部教材	各研究指導教員の指示に従うこと。				

学生が達成すべき行動目標		関連卒業認定・学位授与方針
①	研究計画にそって文献検索や資料を収集する。	HSU(2)、(6)、PT(2)、(5)、(6)
②	研究に必要な実験や調査を計画する。	HSU(2)、(6)、PT(2)、(5)、(6)
③	実験や調査を適切な手順と方法で実施する。	HSU(2)、(6)、PT(2)、(5)、(6)
④	仮説やデータに基づいて研究成果を論述する。	HSU(2)、(6)、PT(2)、(5)、(6)
⑤	論文を定められた形式で発表する。	HSU(2)、(6)、PT(2)、(5)、(6)
⑥		

授 業 計 画				
回	学習内容等	担当	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)
1	卒業研究の説明	[担当] 坂本	講義	科目の説明を行う。
2-8	研究テーマに関する資料収集・文献抄読・討議・研究計画の立案	[担当] 各担当教員	演習・実習 実技	各研究指導教員の指示に従うこと。
9-18	計画に基づいたデータ計測・解析・整理・処理、情報精査			
19-24	データ解釈・討論、研究結果と考察のまとめ			
25-30	論文執筆、発表用資料作成、討論、発表			
				180

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	100	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	40	0	0	0	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	20	0	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20

評価のポイント				フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点		
レポート	①	✓	期限内に提出された論文の内容で到達度を評価する。評価内容は、論文の種別によって異なる。共通する評価には、論理的に文章が書かれているか、正確な先行研究や調査との比較を行っているか等がある。研究論文、総説、調査では、基本構造を守っているか、調査デザインの設定、データの扱いの適切さ、研究命題と結果に基づいた考察などを評価する。社会活動報告、その他についても、報告書の趣旨の明確さ、主観と客観の使い分け、パラグラフライティングが行われているか、先行研究や調査と比較をしているか等を評価する。	
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥			

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

発表	①	✓	卒業研究発表会にて発表し、発表内容で到達度を評価する。評価内容は、論文の種別によって異なる。発表の構成、発表方法、プレゼンテーション資料の質などがある。	
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥			
備 考				
他 担 当 教 員	高村 浩司、粕山 達也、三科 貴博、坂本 宏史、田中 将志、成 昌燮、関口 賢人、関根 聡美 源 裕介、石井 智也、福田 京祐			
教員の実務経験	理学療法士として7年の臨床経験、研究の実務経験あり			
実践的授業の内容	各教員の専門領域あるいは研究に基づいたテーマの研究、総説、調査、社会活動報告、その他の種別の論文報告書を作成する。 初回の説明以降は担当となる教員と相談の上、日程を調節して実施すること。			
そ の 他	<p><b>【注意事項】</b></p> <p>テーマを示した理学療法学コースの専任教員と協議の上、担当となる教員を決定し、本科目を受講するものとする。複数の教員を担当とする場合は、主となる教員を相談し、決定すること。なお、作業療法コースの教員のテーマについては、同コースの科目履修とするため相談に申し出ること。</p> <p>一つのテーマにつき、最大3人の共同著者となる学生を許可する。それ以上となる場合は担当教員に作業の割り振りを報告すること。担当教員より研究、調査等に協力がない学生が判明した場合は、大学の規定する回数欠席をもって履修放棄とみなす。</p> <p>基本的に1～3年次にテーマを決定し、3年次の3月までにはデータ収集を終えていることを強く推奨する。報告書は「卒業論文作成規定」に基づいて執筆し、卒業論文テンプレート（Word）を使用すること。到達度評価には含まれないが、2月に開催される報告会にて発表を行うこと。</p>			